

血液培養検査の基本と精度管理

forward

血液培養検査は血流感染症診療において必要不可欠ともいえる検査ですが、適切に実施されなければ、汚染菌の検出などにより不要な検査・抗菌薬治療を招くことがあり、これらは臨床現場や医療経済の面からも悩ましい問題となります。そこで、本特集では血液培養検査の精度管理にフォーカスし、適切な診断・治療につなげるための考え方や手法を、基本から解説いただきます。また、リソースが限られる夜間・休日の対応についても、意義や注意点、運用上のポイントなどを含め、実例を交えながら紹介いただきます。

(編集部)

1. 血液培養検査の目的と基本

2. 血液培養検査の精度管理

1) 検体採取に関する精度管理

(1) 検体採取のタイミング

(2) 検体採取方法

(3) コンタミネーションの判断とコンタミネーション率の算出

2) 検査室での精度管理

(1) 検体採取量

(2) 培養時間、サブカルチャー

(3) (自動) 病原体核酸検査の国際標準化と精度管理

3) 夜間・休日における運用と精度管理

(1) 夜間・休日における運用内容

(2) 検査担当者の精度管理

3. 施設での取り組み

1) 中規模病院での取り組み

2) 大病院での取り組み
